

双鷺洲

鷺浦コミュニティセンターだより

発行：鷺浦コミュニティセンター
電話/FAX: 0848-87-5004
Eメール: sagiurac@mail.mcat.ne.jp

新年の「あいさつ」

鷺浦コミュニティセンター運営委員長



河野 貢



明けましておめでとございます。今年も鷺浦コミュニティセンターは島の活性化の拠点として生涯学習の拡充、トライアスロン・元氣さぎしま協議会・地域計画策定委員会事務局等等、皆様の期待に添えるよう努力しますのでよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は国の内外、島のうちとでもいろいろ出来事の多い年でした。身の回りでは、知人が春に旅立たれ、秋・冬と訃報が続いております。いずれ、皆、行く道ですが「島で生涯を過ごせた」は、それなりに満足だったと思います。

「島に生きる。この道しかないと皆が思えば何かが見えてくる気がします。」



島暮らしに期待する定住者がボツボツと増えてきています。島の魅力は何か、求める生活は出来ているかなど話し合ったら、おもわぬ活力が湧いてくるかも知れません。よく働き、よく遊び、よく学べば、人は生き生きとなり若返ることでしょう。変化する佐木島を愛し、明日への展望を求め、笑顔で島生活をエンジョイして行きましょう。

「ミセン講座も増え、アイデアと工夫により受講生も増えております。ご自身、自己啓発にもご活用下さい。」

鷺浦町内会長 松岡 尚男



「近者説遠者来」の島づくり

あけましておめでとございませす。平成二十六年が始まりました。皆さんそれぞれ希望と期待を持って元日の朝を迎えられたことと思います。

今年こそは良い年でありませすように・・・と思われた方はおられますか。しかし振り返ってみれば去年もいい年だったのに私たちが気付かない良かったことが沢山あります。また一面では過ぎ去った日々は楽しいことばかり想い出されることもあります。

でも過ぎたことよりも、朝が来て新しい一日が始まったことを喜び、そして明日という日が来ることを楽しみにしましょう。多少の苦難はあるにしても、生きていくということは楽しいことばかりです。将来の自分自身をイメージしてみてください。十年後そして二十年後にはどんな生活を送っておられるのでしょうか。

数通りの想像ができると思ひますが、最高の生活を考え、それ

に向かつて行く最善のシナリオを選んでください。

そのシナリオに沿って日々を生きていきましょう。約六十年前に佐木島が三原市に合併したときには三千人を超える人が佐木島に住んでいました。でも昨年の暮れには約八百人余りと四分の一近くになりました。

このまま推移すれば十年後、二十年後にはどうなるの不安もあります。次の世代にどのような島を引き継いでいられるかが今の私たちにとって大きな課題であり、使命であります。

「近者説遠者来」というのは孔子の政治論で、近い者(住んでいる者)が喜び懐きその噂を聞いて遠くの者が自然にやってくるという意味ですが、私たちの島も住んでいる人が毎日楽しく生活していれば、佐木島に行ってみようという人が増えてくると思ひます。島民の皆さんで力を合わせて二十年後、三十年後の佐木島を来る人も住む人もたくさんいるもつと元氣な島にしましょう。



俳句・短歌

・ 咲き残る一輪のバラ秋の空
・ 夕日受け白さの目立つ昔かな

あかんたれ

・ ふるさとのぬくもり伝える賀状書く
・ 初夢はいつもの笑顔でおもてなし

ぶんか

・ 逝きし人冴ゆるしじまや冬銀河
・ 蒼天に祈りし雪や返り花

一草

・ 癸巳産院ミズで取り違え

赤いちゃんこで生まれ変わろう

・ 何度目かうま年迎う七十路坂

ゆっくり焦らずかけ上がりたや

D 生

・ 人嫌いにもかかわらず時として

あなたこなたに思いをはせる

・ 鴉かな蟹の残骸路上にて

爪や手足が雨に打たれて

牡丹

1月町内行事予定

1日(水) 元旦祭(歳祝い)

2日(木) 新春ロードレース大会(須ノ上)

12日(日) 消防出初式 午前9時

放水競技に須ノ上 班出場

14日(火) しまのわ 19時30分

19日(日) 第9回市民ビーチボール

バレー大会

20日(月) 鷺浦町活性化 地域計画策定

ワークショップ19時00分

地域おこし協力隊 林 益永



1月中旬着任予定です。須ノ上に居住し「ミセン」を拠点にして活動され、島内の色々な行事・活動に参加されます。

皆様初めまして。

この度、三原市地域おこし協力隊として、皆様共に佐木島で生活させて頂く事となりました林 益永と申します。

初めてホームページで佐木島を見た時、写真に写る豊かな自然と綺麗な海に「一目惚れ」し、「ここに住みたい」と思い応募しました。

私の趣味は、釣りと自然散策、史跡巡り、料理です。

季節の移り変わりを見る事が楽しみで時折キャンプに行き、ふとした拍子に目に入る風景を写真に収めています。

佐木島の「お大師さん」には、とても興味を惹かれると共に、島に住んだら一番に巡って見ようと決めています。

また以前から農業に興味がありましたので、これを機会に本格的に勉強したいと思えます。

特に私は柑橘類と無花果が大好きなのですが、中でも無花果は前々から栽培したいと思っていましたので、育っている方がいらしゃると聞き、とても楽しみです。

また、以前魚屋でアルバイトをしていた関係で料理を好きになり趣味としていますが、まだまだ人様に出来る程の腕前ではありません。

ですので、三原市の郷土料理など「地元の味」を早く覚えたいと思えます。

一日も早く皆様に覚えて頂けるよう頑張りますので、見掛けたり一声お掛けください。

今後とせ、ご質問やお問い合わせ願います。

『エアロビクス&アロマヨガ』の体験講座を開催しました

11月24日(日)講師に福山市で活躍中のカリスマイストラクター木村真弓さんによるエアロビクスと、佐木島で大活躍の今川奈菜さんによるアロマヨガの体験講座を開催しました。

最初に講師の先生方によるデモンストレーションがあり、その後木村講師の楽しい話術を交えたエアロビクス、後半は今川講師のヨガでアロマの香の中で気持ちよく身体を動かしました。

家族での参加もあり和やかに気持ちのいい汗を流しました。



体験講座『笑いヨガ』で免疫力アップ 参加者募集

日時: 1月27日(月) 13:30~15:00
講師: 小田 菜保子さん
受講料: 100円
定員: 20名
持参物: 運動できる服装
申込み期限: 1月23日(木)
申込みは鷺浦コミセンへ
電話: 87-5004



笑う門には健康来たる 男性の参加 大歓迎です

笑いヨガとはヨガの呼吸法を取り入れた笑いの体操です。インドの医師が健康のために考え出した体操で、最初は5人で始め、今では70カ国以上の国に普及しています。

『さぎしまを愛するボランティアガイド』が県知事賞を受賞!!

12月13日(金)県庁で「観光地ひろしま!おもてなしアワード」の表彰式があり、「さぎしまを愛するボランティアガイド」が表彰されました。応募した73団体・個人の中から特に優れた活動をした5団体が表彰されました。

さぎしまを愛するボランティアガイドは、先人達の残してくれた風土・文化・自然を大切に島の案内と暮らしと伝統をガイドすることにより、観光客と心の豊かさを共有している点が高く評価されました。

「心かよう島さぎしま、来島者も島民も共に喜びあえるガイド」をモットーに活動を初めて7年、今後もさぎしまの活性化にむけての活動が期待されています。



島の祭典『アイランダー2013』出展報告

11月23日(土)・24日(日)に東京の池袋サンシャインシティで開催された、島の祭典「アイランダー2013」に佐木島からも出展しました。

さぎしまのPRやさぎしまみかんの販売などを行い、大盛況でした。特にさぎしまみかんは全出展ブースの中で1番美味しいと評判で多くの方が購入されました。

また、佐木島の出身者が10名程度来場され、出展者との交流を楽しまれました。これを機会に関東地区でのさぎしまの「しまびと会」を立ち上げようという提案がなされるほど島への思いが厚い皆様でした。

